

年 度 評 価 シ ー ト （令和7年度）

課名 観光国際課

施設の名称 静岡市由比本陣施設	指定管理者名 特定非営利活動法人ふれあい由比
1 履行状況	
(1) 目標達成 ア 利用者満足度 目標値 80%、実績値 82.5%（前年度 80%） 達成率 103.1%（前年度比 103.1%） イ 利用者数 （ア）東海道由比宿交流館 目標値 45,299 人、実績値 48,159 人（前年度 39,915 人） 達成率 106.3%（前年度比 120.7%） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 35,007 人、達成率 69.4% （イ）由比本陣記念館 目標値5,084人、実績値人7,492人（前年度7,609人） 達成率147.4%（前年度比98.5%） 【参考：令和元年度（コロナ前）入館者数3,430人 達成率85.8%】 (2) 人員配置 正規5人、パート1人 (3) 業務実施状況 各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業は以下のとおり。 ア 東海道由比宿交流館 （ア）情報発信 各種企画に合わせてホームページの更新や由比本陣通信を毎月発行し、積極的に当館のPRを行った。館内では由比地域の地場産品の紹介を地元事業者と連携し実施した。 （イ）地元漁協、農協、商業団体と連携した集客事業 由比桜えびまつり、ゆいまるフェア、由比街道まつりなどのイベントと協働し各イベントに合わせた集客事業を実施した。 （ウ）地域の市民交流及び発表の機会の提供及び支援 東海道広重美術館で毎年実施しているゆい年賀状コンクールの応募作品の展示や一閑張り作品展など、他団体・市民と協働し各種展示を9回実施した。	

(エ) 駿州の旅日本遺産推進事業への協力

本市が推進する駿州の旅日本遺産推進事業へ協力し、駿州の旅日本遺産認定ボランティアガイドの受付窓口を担い、ガイドが必要な観光客へ紹介した。

また、駿州の旅日本遺産インフォメーションボードの設置に協力するとともに、東海道二峠八宿のプロモーション動画を放映するなど、由比地域だけでなく周辺の他地域の情報発信を実施し周遊を促した。

(オ) その他

地元団体と連携し、母の日プレゼントづくりや絵手紙&レジンアクセサリ作りなど体験事業を5回開催した。

イ 本陣記念館（御幸亭）

国内の団体ツアーや清水港への客船寄港時のインバウンド団体客の受入先として、案内業務を実施した。

また、由比本陣記念館で庭園を鑑賞しながら抹茶や煎茶を楽しめるお抹茶DAY（冷茶DAY）を開催した。

【検証・分析等】

入館者数の目標値については、東海道由比宿交流館・御幸亭ともに達成した。

由比本陣記念館は、目標を大きく上回っており、良好な受入れ体制がとられている。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【検証・分析等】

意見：クルーズ船客が由比本陣記念館に入館した際、従前は足を除菌シートで拭いてもらっていたが、立ったまま足を拭くことが困難な場合がある。

対応：足を拭くシートを床に敷き、その上を歩いてもらうように変更した。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済みである。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

満足度向上のため、来館者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：374件、（前年度400件）

① 展示内容の満足度 79.4%（前年度76.5%）

「とてもよかった」「よかった」と回答した人数：297人

② 職員の対応の満足度 85.6%（前年度83.5%）

「とてもよかった」「よかった」と回答した人数：320人

利用者満足度について 職員の対応は目標値である80%を上回っており評価できるが、展示内容の満足度は、目標値を下回った。この結果を検証し、より満足度の高い展示となるよう改善に取り組んでもらいたい。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 観光客へのアンケート

当施設の認知度を調査するため、静岡市が設置している観光施設4施設（東海道広重美術館、清水港船宿記念館、坐漁荘記念館、三保真崎グラウンドゴルフ場）に来館、入場した人を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：3,209件、当該施設を知っていると回答した人数：1,385人

認知度：43.2%（前年度37.2%）

認知度は昨年度よりも上昇した。引き続き、市やするが企画観光局と連携し、ターゲットを見据えた効果的なプロモーションを期待したい。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりに執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりに執行されており良好である。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

本施設は、由比地域の振興、交流の拠点として、来訪者への情報発信や文化交流の場の提供を担うことが期待されている。同一敷地内の静岡市東海道広重美術館とともに、静岡市固有の観光資源である東海道「二峠八宿」のひとつの由比宿に位置することから、街道観光の拠点の一つとして重要な役割を担う施設であり、清水港に来港するクルーズ船客の目的地として多くの観光客が訪れる重要な観光施設である。

昨年度に比べ、由比宿交流館入館者数の増加や、アンケート満足度の上昇、地元の漁業・農業・商業関係団体、ボランティア団体等と協働し、地域に根ざした活動や情報発信に努めている点は評価できる。

しかし、「特別感や地域の特性を演出できる会場（ユニークベニュー）としての利用の促進」については、改善の余地がある。

今後は、由比地域以外への効果的なPR方法、利用者の増加、満足度の向上につながる事業や、入館者増及び収入増に繋がる自主事業等の実施を通して、施設の更なる魅力向上を期待したい。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。